

おほとものすくねやかもち  
大伴宿禰家持、  
たちはらのあそみくすまろ  
藤原朝臣久須麻呂に報へ贈る

歌三首

七八六番

春はるの雨あめは いやしき降ふるに 梅うめの花はな いまだ咲さか  
なく いと若わかみかも

七八七番

夢いめのごと 思おもほゆるかも はしきやし 君きみが使つかひ  
の まねく通かよへば

七八八番

うら若わかみ 花はな咲きかたき 梅うめを植うゑて 人ひとの言ことし  
み 思おもひそ我あがする